
健康教育活動

年報・機関紙の発行

- ・「東京都予防医学協会年報」2004年版(平成14年度活動報告)・通巻第33号(A4判260ページ:3000部)を発行した。
- ・月刊機関紙「よほう医学」(タブロイド判6ページ・12月号のみ4ページ:11000部)を11回発行した。

発行月	主な内容
4月	「健診・検査データ共有化事業が本格稼働」, 「21世紀にふさわしい東京の保健医療の将来像」, 「『健やか親子21』と思春期外来」
5月	「21世紀の健康づくりで日韓交流」, 「シックスクール症候群—その対策と検査法」, 「『地域・職域診断サービス』—開発の目的と活用方法」
6月	「生涯にわたる歯の健康づくりを考える」, 「マルチプル・リスク・ファクター・シンドローム—動脈硬化性疾患のリスクを減らすために」, 「プールを楽しく安全に」
7月	「夏のスポーツと健康・学校保健セミナー」, 「辻一郎東北大学大学院教授にきく—全国3242市区町村のがん検診の実施状況」, 「学校心臓2次検診の心臓超音波検査で発見された心疾患」
9月	「検査・健診データの扱い方と活用を協議—中央会・技術運営会議」, 「乳がんマンモグラフィ検診—本会の平成14年度成績と乳がん予防」, 「山本精一郎国立がんセンター研究所研究員にきく『乳がん予防に大豆食品が有効』」
10月	「健診実施の指針づくりがスタート」, 「睡眠時無呼吸症候群(SAS)」, 「職場のメンタルヘルス—復職をめぐる」
11月	「厚生労働省乳がん検診研究班が基本指針」, 「学童糖尿病検診の現状と今後の課題—学童糖尿病検診研究会パネルより」, 「新生児スクリーニングの今後の課題—第31回日本マス・スクリーニング学会から」
12月	「川崎病の最近の動向—第19回循環器情報処理研究会から」, 「不登校の子どもたち—その背景と対応を巡って」
1月	「2004年年頭によせて」, 「過敏性腸症候群(IBS)とストレス」
2月	「第32回日本総合健診医学会が開催」, 「電通健保の生活習慣病予防モデル事業・4年間の成果とその意義」, 「最近の子宮頸がん検診の問題点」
3月	「『東京から肺がんをなくす会』が学術講演会」, 「山縣然太郎山梨大学教授にきく—個人情報保護と健診機関における健診データの活用」, 「健康教育, これまでとこれから」

* 記事の内容は本会ホームページに掲載しております (<http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp>)

パンフレットの出版

職域の健康管理の仕事にたずさわる方々のためのシリーズ「健康管理のとびらをひらく」(健康管理コンサルタントセンター発行・B6判36ページ) No.41『外食時代の新・栄養学』(著者:新出真理ヘルスサポート研究会カナン代表)を企画・編集・協力した。

研修会・研究会の開催

健康管理コンサルタントセンターと本会の共催によるヘルスケア研修会を下記のテーマで開催した。

開催日	回	テーマ	講師
2003年 5月28日	第189回	マルチプル・リスク・ファクター・シンドローム	多田紀夫 東京慈恵会医科大学教授
2003年 7月16日	第190回	職場のメンタルヘルス	山本晴義 横浜労災病院メンタルヘルスセンター長
2003年 9月24日	第191回	睡眠時無呼吸症候群(SAS)	成井浩司 国家公務員共済組合連合会虎の門病院呼吸器科医員
2003年 11月26日	第192回	新しい健康支援	星 旦二 東京都立大学都市科学研究科教授
2004年 1月28日	第193回	今、求められる健康教育(1)	埋忠洋一 UFJ銀行東京健康管理センター所長
2004年 3月24日	第194回	今、求められる健康教育(2)	黒田恵美子 高輪メディカルクリニック健康運動指導士

企業・健康保健組合の健康管理担当者を中心に構成している「健康づくり懇話会」の事務局を引き受け、下記のテーマで開催した。

開催日	テーマ	講師
2003年 7月23日 臨時例会	睡眠時無呼吸症候群(SAS)	加藤正一 慈生会病院副院長
2003年 10月8日 総会	軀を傷ることなかれ	池松亮子 池松武之亮記念クリニック所長
2003年 10月8日 総会	人間工学からアプローチする快適職場づくり	宮尾 克 名古屋大学情報連携基盤センター教授
2004年 2月4日 例会	快適職場づくりーゆとりプロモーションー	阿部眞雄 東海大学体育学部スポーツ&レジャーマネジメント学科教授

財団法人東京都学校保健会と本会の共催により学校保健セミナーを下記のテーマで開催した。

開催日	回	テーマ	講師
2003年 6月24日	第219回	夏のスポーツと健康	浅井利夫 東京女子医科大学第2病院スポーツ健康医学センター教授
2003年 7月11日	第220回	シックスクール(ハウス)症候群	田村行弘 東京都予防医学協会学術委員
2003年 11月17日	第221回	不登校の子どもたち	植松紀子 こどもの城小児保健部臨床心理士